

東北総体ラグビー 2度目の栄冠

「チームワークの勝利」



小林市長(左端)に優勝を報告する、左から工藤監督、山下コーチ、石戸谷副主将、柴田選手、吹越選手

八学大、市長に喜び報告

八戸

宮城県石巻市で6月16、17日に行われた東北地区大

定を超える勢いで、対応した都市整備が求められる」と指摘。来年のフォーラムについて「地震を背景とした地盤情報活用、インフラ老朽化を見据えたまちづくりなどは共通テーマになる。多くの関係者に八戸を見てもらいたい」と期待を膨らませた。

学総合体育大会の7人制ラグビー競技で優勝した八戸学院大学のラグビー部員らが26日、八戸市庁に小林眞市長を訪ね、4年ぶり2度目となる王座奪取を報告した。

大会は東北6県から12チームが出場し、八学大は4校による初日の予選リーグを1勝2敗の3位で終えた。翌日の決勝トーナメント準決勝では初日に敗れた東北大学を19-12で破り、決勝は岩手大学に19-5と

快勝し、頂点に立った。

26日、工藤祐太郎監督と山下祐史コーチ、4年生の石戸谷賢哉副主将、柴田桂弥選手、3年生の吹越大清選手ら5人が市長室を訪れた。石戸谷副主将は「4年生のまとまりが勝利につながった。後輩たちにもチームワークの重要性を伝えられた」と笑顔。吹越選手は「改善点を見直して、秋季大会でも結果を残したい」と意気込んだ。

小林市長は「大変な練習の成果。今後も結果を出せるように頑張ってほしい」と健闘をたたえた。

同部は2011年度に愛好会として発足し、12年度から部に昇格。14年の同大会では創部以来初の優勝を成し遂げた。(高松拓輝)